

## 総務文教委員会会議録

### 1. 開催年月日

平成29年2月15日 開会 9時57分 閉会 11時18分

### 2. 開催場所

委員会室

### 3. 出席委員名

三宅文雄 西村慎次郎 藤原浩司 上野安是  
簀戸利昭 藤原清和 森本典夫

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 副議長 西田久志

(2) 事務局職員

事務局次長 岡田光雄 主査 柳本兼志

### 6. 傍聴者

山陽新聞 金尾雅広

### 7. 発言の概要

**委員長（三宅文雄君）** 皆さんおはようございます。

ただいまから総務文教委員会を開会いたします。

初めに、議長のごあいさつをお願いします。

〈議長あいさつ〉

**委員長（三宅文雄君）** 本日の議題は、1、所管事務調査事項について、2、その他でございます。

## 〈所管事務調査事項について〉

**委員長（三宅文雄君）** 前回までの委員会におきまして執行部から提出いただきました資料に基づき、現状把握、課題整理、課題の解決策等についてご協議いただいたところです。

本日は西村副委員長が前回までの協議内容を報告書の形に取りまとめていただいておりますので、その報告書の内容について西村副委員長からご説明をお願いしたいと思います。

**委員（西村慎次郎君）** それでは、今ありましたように今までの総務文教委員会での公共交通の充実に関するいろいろな協議調査、協議した内容について報告書という形式でまとめさせていただきましたので、説明させていただきます。

資料のほうはタイトルが所管事務調査結果報告書という本編と、あと別紙ということで今まで協議した中でまとめ上げてきたいろんな現状とか課題の整理とかという、現状が主ですけども、そういった資料を別紙としております。本編の中に出てくる資料という名称で資料1、2、3というのがあります。これは今までの所管事務調査の中で執行部からいただいた資料を添付する形で資料というものをこの本編に添付しようということで、ということで大きくは3種類、報告書と別紙とあと資料ということで3種類ありますが、資料編については今までお配りしている内容とかというのものもあるし、ボリュームが非常に多いので、きょうはつけておりませんので、ご了解ください。

本編の報告書の資料を中心に説明をさせていただきます。

まず、表紙のほうですが、タイトルのほう所管事務調査結果報告書ということで、サブタイトルとして井原市の公共交通の充実というタイトルとしております。今現在では案ということで下へ書いてあります。きょうの日付で2月15日版ということで、最終的には報告日に合わせて日付は変えるということで、井原市議会の総務文教委員会ということにしております。

写真を表紙に入れさせていただいているんですが、ホームページ等から引っ張ってきている写真で、新たに私のほうで撮った写真ではないので、ちょっとこのあたり著作権とか、その辺で市のホームページにあるものなんで、許可、市が出している公共交通形成計画の表紙にあるような写真を切り張りさせていただいているので、多分問題ないと思いますが、そういう写真を今使わせていただいております。

1枚めくっていただいて、目次ですけども、初めから始まって、2つ目が現状把握、それから3つ目が現状からうかがえる課題とその改善案というもの、4つ目が課題解決の方向性、それで終わりにというまとめを最後書いております。

では、初めから説明をさせていただきます。

初めにの内容としては、最初の段落の中で井原市の今の現状、井原市の人口ですとか面積

とかこんな状況ですということと、2段落目がなぜこの所管事務調査を始めているかという経緯を書いて、3つ目の段落で井原市の今の公共交通の状況をざっくり概要を書いておきます。一応ちょっと一通り読みましょうか。

井原市は人口4万1,613人、平成28年12月末現在で、県の西南部に位置し、西は広島県に接しています。地域の面積は243.54平方キロメートルで地形的には井原市街地を除いてはほとんどが山々に囲まれた農山村であります。平成17年3月1日、生活、経済、交通圏等で密接な結びつきのあった井原市、後月郡芳井町及び小田郡美星町の1市2町が合併しました。

平成28年8月の第6回市民の声を聴く会において人口減少問題についてみんなで考えようをテーマにワークショップ形式で開催したところ、市民の皆様からたくさんのご意見をいただきました。その中で公共交通の充実に関して多くのご意見をいただきましたので、総務文教委員会の所管事務調査事項として取り上げ、半年という短い期間でしたが調査研究を行いました。

井原市の公共交通は鉄道井原線、民間路線バス、井原あいあいバス、芳井、美星地区のスクールバスの一般混乗、井原市予約型乗り合いタクシー、一般タクシーがあります。現在は平成28年3月に策定された井原市地域公共交通網形成計画に基づき各種施策を推進されています。路線、ダイヤの見直し、公共交通空白地区の解消など、市民の通勤通学や通院、買い物等に利用され、一定の成果を上げているところであります。そういった状況であります。さらなる公共交通の充実に向け市民目線で現状の課題及び改善の方向性をまとめさせていただきます。ということで始めております。

3ページの次です。現状把握ということで、今まで執行部からいろいろヒアリングをかけた資料をいただいたりしたもので現状を把握した内容をここへまとめさせていただきます。

まず1つ目は、井原市の地域公共交通網形成計画の基本方針ということで、ちょっとこれについては具体的に資料をいただいたりはしていないんですが、これがベースにあるんだろうというところで、最初にこれを掲げさせていただいております。平成28年3月に井原市地域公共交通網形成計画、資料1としております、が策定されました。この中に井原市の公共交通に関する基本方針が掲げられています。

基本方針①はまちづくりと連携した効果的、効率的な公共交通体系の構築、基本方針2、公共交通の安心感と利便性を高める利用環境の整備、基本方針3、地域との協働による公共交通の維持・存続ということで、これを基本方針としてこの公共交通網形成計画がまとめられています。

それから、2つ目として井原市の公共交通の路線図ということで、これは執行部からいた

だいた資料を書いております。井原市の公共交通網は資料2、井原市公共交通マップのとおり鉄道井原線、民間路線バス、井原あいあいバス、芳井、美星地区のスクールバスの一般混乗を含む井原市予約型乗り合いタクシーの大きく分けて4種類の路線により公共交通空白地区ゼロ環境を整えています。

その下へ、公共交通空白地区についてはどういった意味なのかというのを書いています。公共交通空白地区とは、既存のバス停から1キロメートル以上離れ、かつ予約型乗り合いタクシーを運行していない地区のことで井原市地域公共交通網形成計画では定義されております。イメージとしてマップの写真をここへ載せています。

それから、3つ目の現状把握ですけれども、井原市公共交通の利用状況及び収支状況ということで、現状の井原市の公共交通の利用状況及び収支状況は別紙1ということで別紙つけておりますけれども、井原市公共交通路線一覧表及び別紙2の井原市スクールバス車両一覧表のとおりです。路線別には利用者がほとんどいない路線もあり、収支が悪化し、市の負担が大きくなっている路線も見受けられますということで、今までの協議の中で出てきた意見を載せております。それと、備北バス運行の井原芳井高梁駅線は平成28年11月末をもって廃止されましたという現状を書いております。

それから、4ページ目に移っていただいて、4、各路線の便数及び時刻表ということで、現状の井原市の公共交通の便数及び時刻表は別紙1の井原市公共交通路線一覧表及び資料3、各路線の時刻表のとおりです。資料3についてはきょうつけていませんけれども、執行部からいただいた資料の中にあります。

それで、予約型乗り合いタクシーとあいあいバスの乗り継ぎは考慮された時刻表になっているようですが、鉄道井原線や民間路線バスでの乗り継ぎは余り考慮されていないように思えますと付け足しております。

それから、5つ目、井原市内の地域別の人口ということで、井原市内の地域別、年齢分類別の人口は平成28年3月末現在、別紙3の地域別、年齢分類別人口及び別紙4の地域別、年齢分類別人口分布図のとおりですということで、これは添付、きょう別紙の3、4につけております。高齢者の多い地域とか高齢化率の高い地域がこれでわかりますということを示しております。

それから、6、市民の声を聴く会での参加者の声ということで、平成28年8月に井原市議会が実施した第6回市民の声を聴く会において参加者から公共交通の充実に関して別紙5、市民の声を聴く会での参加者の声のとおりたくさんのご意見をいただきました。交通弱者の皆様が買い物や病院に行くのに困られているようですということで、市民の皆さんから意見が出たところをつけ足しております。写真は多分荏原地区だと思いますけど、第3班が行かれたときの写真、これは議会だよりに掲載していた写真ですけど、それをここへ載せてお

ります。

これが現状把握の内容です。

次の5ページへ移っていただいて、現状からうかがえる課題とその改善案ということで、執行部から情報提供をいただいた公共交通に関する情報や市民の声を聴く会でいただいた市民の皆様からの声をもとに総務文教委員会で協議し、現状の井原市の公共交通についての課題及びその改善案を整理しましたということで、この表は前々回、委員会の中で協議いただいた内容をそのままつけております。

1つはあいあいバスに関しての1便当たりの利用者数、5人から10人が4路線ですと、1人から5人は5路線、ゼロ人から1人というのが3路線ありましたということで、課題としては例えば②の1人から5人に関しては利用人数とバスの大きさがアンバランスになっているのではないかと課題。③のゼロ人から1人に対してはあいあいバスの必要性がないのではという課題をあげております。改善案としては、まずアンバランスの部分については車両更新時に車両の小型化を図ってはというところを書いております。あと、ゼロ人から1人の路線については、予約型乗り合いタクシーへの切りかえの検討をしてはどうかという改善案を書いております。

それから、2つ目の同じくあいあいバスのことですがけれども、補助金、委託金について今旧井原市では2,793万5,000円、芳井地区については152万5,000円、美星地区はスクールバスの委託金に含まれているため直接的な負担はないということです。課題として、旧井原市は利用者1人の収入は70円、利用者1人の費用については776円。1便当たりの収入は392円、1便当たりの費用は4,331円でした。収入に対して支出が約10倍ということがわかりました。そういう課題があると。それから、②として芳井地区については、利用者1人の収入が101円、利用者1人の費用は703円、1便当たりの収入は349円で、費用については2,028円かかっているということで、こちらについては収入に対して支出が約7倍であることがわかりました。改善案として、車両の小型化による補助額の見直しですとか、あわせて同じく収支率の改善ということを改善案として上げております。

それから、3つ目、予約型乗り合いタクシーについてですけども、運行回数が週2回の1日4便2往復というのがそれぞれの予約型乗り合いタクシーの運行状況です。これに対して課題としては、市民ニーズとのギャップがあるのではないかと課題を上げております。改善案としてモデル地区を指定し、週3回以上とか1日5便以上の運行や施策として市役所とか市民病院の追加とか、利用者範囲拡大など、市民の実際のニーズを把握するため市民へのアンケート調査や実証実験をしてみてもどうかというご意見があがっております。

それから、6ページ目に移っていただいて、4つ目、同じく予約型乗り合いタクシーの現

状で、ここも年間運行便数、平成27年度ですけれども、200便以上は3路線です。それから、100から200便は1路線、50から100便は1路線、1から50便は2路線、運行実績なしは3路線でしたと。もう一つ、年間の利用者人数ですけれども、500人以上利用されている路線は1路線、300人から500人が1路線、100人から300人が3路線、1人から100人が2路線、利用者ゼロが3路線という現状であります。それに対する課題ということで、運行実績が少ない地域についてなぜ利用が少ないのかという原因が今までいただいた資料だけでは把握できていませんという状況ではあります。原因が不明であります。もう一つとして、予約型乗り合いタクシー導入時に導入地域への説明やニーズ調査をしているようだが、その後の調査が行われていない課題はあるのかなど。導入地域からの要望も来ていないのは現状ではあるけども、そういった地域との調整が導入当初しかしていないというような課題ということでもあります。まず、その改善策として、予約型の登録者の登が抜けています、済いません、登録者へのアンケート調査を行って原因を把握するというのと、それから、地域住民への再度の説明を行い、予約型乗り合いタクシーの周知やニーズ確認を行うという改善案を書いています。6ページの頭に見出しをつけるつもりがつけていないので、見出しもつけるようにします。見出しというのはナンバー、現状、課題、改善案、タイトルです。

それから、5番目、市民からの声ということで、病院、買い物に行く交通手段がないという声をいただきました。課題としては公共交通網が市民にとって十分でないこともあるんだろうという課題を上げております。また、公共交通機関を乗り継がないと目的地に行けない公共交通網の整備になっているという課題もあるのでは。3つ目の課題としては、公共交通を乗り継ぐという文化が井原市民にとってはそういう乗り継ぎ文化がないんじゃないかというのを。それから、4つ目として公共交通機関についての理解が十分できていないんじゃないかと。それから、1つ目としての改善案としては路線図の改善とか時刻表の見直しとか便数を増便するとかということを考えてはということ出ています。②、③の改善案としては予約型乗り合いタクシーの行き先を拡充してはということも書いております。それから、4つ目としては市民へのPRとか周知をしてはということを書いております。

それから、6項目めと全体ということで、①予約型乗り合いタクシーはあいあいバスへの乗り継ぎが考慮された運行になっている、しかしJRとか鉄道井原線、民間路線バスまでは考慮されていないというのが現状でございます。それから、②として公共交通空白地区の定義を半径1キロから400メートルへ変更。空白地区の定義は1キロなのかもしれないですけども、今の公共交通網形成計画では400メートル以内に何らかの公共交通が走っている状態にしようという目標になっております。ちょっとこの表現が正しいかどうかは…。③として相互乗り入れということで、ここで相互乗り入れとはを例えばで書いておりますが、上

野地区の人が芳井と高屋へ行けるようにということで、相互乗り入れへの対応はできていないというのが現状であります。それに対しまして、1つ目の対応としてはJRとか鉄道井原線、民間路線バス、あいあいバス、予約型乗り合いタクシー、全体での乗り継ぎの調整ができていない課題です。それから、②としてはどういうスケジュールで400メートル以内への対応を行うのかということで、形成計画の期間では当然されるんでしょうけれども、具体的にいつまでということが見えていませんということです。それから、3つ目として相互乗り入れできない理由の調査ということで、課題があります。まず1つ目の改善案としては、まず現状調査を行って、課題の洗い出しをし、解決策を検討してはということ、具体的にこうしろということは書いておりません。それから、②としては具体的なスケジュールを把握しましょうということで、3つ目としては行き先のニーズ調査を行って、行き先拡充を図ってはということを書き添えてあります。

続いて、7ページです。課題解決の方向性ということで、今までの現状把握とか課題の整理の中でその方向性についてまとめております。

前回の委員会の中では4点に絞りましょう、課題は幾ら、たくさんあるんだけど、その中で重要な課題を絞り込もうということでご意見をいただいて、最初は4点に絞ってきたんですが、前回の終わりのところでもう一個、実証実験というのをしていこうというような解決策の案は出ていたんですが、最後そこまでせずにはまずはアンケート調査ぐらいでいいんじゃないかというご意見でまとまったかと思ったので、そういう理解をしていましたので、そこは削って3つの重点課題ということでまとめさせていただいております。前記3の現状から伺える課題とその改善案をもとに重点課題を次の3点に絞り込み、課題解決の方向性について整備しましたということで、1つは各公共交通機関へ乗り継ぎが考慮されたダイヤへということで、予約型乗り合いタクシーとあいあいバスについては乗り継ぎを考慮された時刻表となっていますが、民間路線バスや鉄道井原線への乗り継ぎは考慮されていないと感じられました。これ別紙6にその辺の説明、裏づけがわかるような資料をつくっております。そのためまずは現状把握を行い、そこから伺える課題を洗い出し、解決策を検討してはどうかと考えます。例えば、別紙⑦の井原駅の乗り継ぎ時刻状況についてを見ると、総社方面、福山方面、笠岡方面への乗り継ぎ及び同方面からの乗り継ぎについては乗り継ぎがうまくできている井原あいあいバス路線や井原市予約型乗り合いタクシー路線はありますが、全体的には乗り継ぎが考慮されていない状況にあります。また、芳井、美星方面への乗り継ぎ及び芳井、美星方面からの乗り継ぎについては発着が井原バスセンターとなっており、井原駅を経由しないため乗り継ぎが全く考慮されていない状況です。総社方面、福山方面、笠岡方面については、朝、昼、夕方の1便ずつで乗り継ぎが考慮されたダイヤにすることを提案すると。また、芳井、美星方面については井原駅を経由していただけるような路線図にしていた

だくことを提案します。最後に3行で、委員会で話した提案事項を書いております。

それから、(2)井原あいあいバスの車両小型化による運行の効率化で、あいあいバスにおいては1便当たりの乗車人数と車両の大きさがアンマッチになっている路線が多く見受けられます。車両更新時に小型化を図り、乗車人数に見合った車両の大きさとし、運行の効率化とって括弧して、コスト削減であるとか増便によるサービスの向上などを図ることを提案します。

それから、3つ目、井原市予約型乗り合いタクシーに対するニーズ調査、市民からは買い物や病院へ行くための交通手段がないという声をいただいています。市民ニーズと予約型乗り合いタクシーの行き先がアンマッチとなっていることが考えられます。そこで、市民ニーズを把握するため市民アンケートを実施することを提案します。アンケートの内容としては予約型乗り合いタクシーを利用できるエリアの拡大、行き先、運行する曜日、時刻、便数、それから相互乗り入れなどに対する希望を調査されることを提案します。また、アンケートの対象者としては公共交通機関を利用されている方や予約型乗り合いタクシーの利用者登録をされている方を対象とされることを提案しますということで、ちょっと最後の3行ぐらいは多分意見は出ていないんで、きょう協議してもいいんですが、そういった実際の利用されている方を対象にアンケートは、無作為の市民に対してというよりかはそういう実際に利用されている方を対象にしてはどうかというのをつけ足させていただいております。

最後、当初はまとめとしていたんですけど、まとめになっていないんで終わりにということで一言書かせていただいております。

平成28年8月に実施された第6回市民の声を聴く会において市民の皆様から公共交通の充実に関して多くのご意見をいただき、総務文教委員会において所管事務調査事項として取り上げ、6カ月間で7回にわたり協議を行いました。期間的に短かったこともあり、ライドシェアですとか少量有料輸送サービスなどの先進的な取り組みについて詳しい調査をすることができず、本報告書で提案することができなかったことは残念なところであります。少し個人的な感想を入れております。今後の公共交通の方向性については地域と行政が連携し、それぞれの役割を果たし、交通弱者に対しサービスを充実させていくことが大切であると考えています。今後も引き続き市民福祉の向上のため市民ファーストで調査研究してまいりますということで締めくくらせていただいております。

別紙は先ほどの本文に出てくる別紙で、今まで協議の中で取り扱っている資料を添付しております。

以上です。

**委員（藤原浩司君）** 6ページなんですけど、現状、課題、改善案というのをつくっていただいて、その4番、課題の①番に運行実績が少ない地域についてはなぜ利用が少ないの



か原因が不明であるという理由があるんですけど、これは実際が私も耳にしているのが今の路線の時間帯が合わないがゆえに使いたくても使えないという理由が結構あるんです。ここで原因が不明であるということにはならないと思うんです。実際は一番最初のころのあいあいバスのルート上の時間配分は結構8時過ぎとかになっていたんですけど、例えば早雲の里線とかじゃと一番多くの集落が7時5分、女性の高齢者の方でも一応洗濯したりとかというような片付けをされる中で、聞くのに7時4分とか5分だと停留所まで歩いていかんやだめなんで、ちょっと使いにくいということが実際に聞いております。ですから、ここで原因が不明であるというのはちょっと文言的に僕はいかがなもんかなと思うわけです。そうしないと、下へずつとつながっていくところがどうしてここだけがこういうふうにならぬのかなということ、つながっていかぬと思うんです。

だから、私今これをずっと見させていただいてもよくできていますし、私たち総務文教の真意を突いたような形にはなっています。最終的に1つ、これは市民の向上のために市民ファースト調査で研究してまいりますということと、それから交通弱者に対してサービス充実される、この中で例えば井原市予約型タクシーに関する調査等々にしても公共交通機関を利用される方も予約型乗り合いタクシーの利用登録をされている方を対象、これはもう本当に素晴らしいことを書いてあるなと思います。そうでないとやはり時間の配分が悪いとかいいとかというのがなかなかわからない。実際、予約型タクシーになるとすると、料金的にどのようになるのか。あいあいバスだと100円で済むとかというような形もありますんで、ここは業者に登録、アンケート調査を出すのが一番妥当なのかなと。あとはもう終わりに対しても別に問題ないとは私は思います。1点だけ。

**委員長（三宅文雄君）** 藤原浩司委員にお尋ねします。

原因が不明であるということについて、どういった文言が適切であるとお考えがございませうでしょうか。

**委員（藤原浩司君）** ここは原因が不明であるでなしに、今言った、委員長から言われたんですが、利用が少ない地域についてなぜ利用が少ないかまでを書かないで、運行実績が少ない地域については時間配分が悪いというふうな形をとっていかぬとアンケートにつながっていかぬと思うんです。一番最終的に利用者にアンケートをとっていきと言われる中で原因が不明であるというのは原因はほかにもあると思うんですけど、大きく耳にしているのが時間配分が悪いということを知りますので、そういう今の私の言いたいことは、書くんであればそのような感じで書かれたらいいんでないかなと。最終的に等、時間配分が悪い等というような形でいかれるほうが無難なのかなというふうに思います。

**委員（西村慎次郎君）** 藤原委員言われるとおり、原因不明と書いちゃうと何も把握できていないかということもあるんで、例えばということで、先ほど言われている時間帯とか

行き先とか、2つぐらい入れて等にしておいて、実際の利用者が実際にどう思っているかというのはアンケート調査して、そしてどこが一番ポイントなのかというのは調べないといけないけど、全くない、原因が不明で終わらせるよりはそう思います。地域について時間帯ですとか行き先とか等が悪いのではないかなというような課題にしてはと思います。

**委員（森本典夫君）** 6ページの5で③に文化が井原市にはないというふうなことで言っておりますが、この表現をもう少しやわらかく、全くないわけでなしに乗り継ぎもして乗っている人もおられるわけなんで、そういう意味では乗り継ぐという文化が井原市民には薄いか弱いかというような表現にしたのがいいんじゃないかなというふうなのが1点。

それから、その下の6でJRというのが出てきますが、これはどのことを言うのかと思って。

**委員（西村慎次郎君）** 井原笠岡線の笠岡駅を意識して私が発言させていただいているところだと思って、福塩線との接続が井原鉄道と福塩線はうまくできていると思っております。

**委員（森本典夫君）** 笠岡までちょっと離れとるから、そのあたりがちょっと僕はひっかかったんですが、ここでJRが出てくるのが適切かなというふうなことはちょっと思うたんで、質問しました。

**委員（西村慎次郎君）** 私もひっかかってはいるんですけど、ひっかかってはいたんですけど、どうするかな。

**議長（上野安是君）** JRの、今これだけ見たら何のことはねえ、福塩線と清音をイメージしてちょっと私の頭には笠岡がなくて、書くんだったらそこまで書かにやいけんのかなとも、山陽本線というか、書かにやいけんのかなと思う。このままJRでぼこっというてしましたら私はもう福塩線とあっちをイメージしたんで、多分そういう人もおるんじゃないかと思うて、結果的には森本委員が言われたようにちょっと離れとるというか、ここでJR載っけるのはさあどうかなという感覚ではある。

以上です。

**委員（森本典夫君）** というのが、井原駅、それから市内のそれぞれの各駅と最終的には東、西のJRにつながるわけじゃけども、井原鉄道の時刻表でそれとの関係というふうなことにするのが一番いいんじゃないかな。だから、西、東のJR、笠岡のところまでちょっと延ばすのはどうかなというふうなことはちょっと思ったんで、ここへJRがひつつくと、ちょっとひっかかるなというふうに僕は思いました。

**委員（西村慎次郎君）** 今森本委員言われるように、最終的にこの協議したまとめの流れからいくと井原駅を中心としてそこで乗り継ぎの連携を検討しているんで、JRだけ、井原市内にはJRの路線はないんで、ちょっとイメージは逆にわきづらいと思うんで、

消す方向で、省く方向でどうかなと思います。

ずっと最初の話の流れからJRってここできたりぼんと出てきているだけなんで、ちょっと違和感があります。

**議長（上野安是君）** ちょっと細々と。順番にちょっと1個ずつ。

まず、表紙の写真が井原駅とバスセンターとあいあいバスと井原線ということなんで、ピックアップされたのもわかりましたが、予約型乗り合いの何かその辺の写真が1個欲しいなという感覚がまず1個。

その辺はちょっと1個ずつどうするか決めていただいて、次また言おうかなと思う。検討してもらえればと思います。

**委員（西村慎次郎君）** 公に出ている写真を利用できればと思ってすごい探したんですけど、なくて、箕戸委員が一度乗り合いタクシーの一般質問されて、議会だよりに掲載されている写真が多分あったと記憶しとんですけど、何年か、あれがあればあれを、人が写つ取るのもいいか悪いかというのもあるんですけど、運転手さんとか写っているのが。それを提供いただければ、載せたいなと思ってすごい探したんじゃないけどな。

**委員（箕戸利昭君）** 写真は撮るのは撮っとるけど、あれが残っとるかどうかはわからん。

**委員（西村慎次郎君）** 写真をネガを出されて、事務局出されてるんであれば。

**委員（箕戸利昭君）** 記憶にない。もう記憶が薄い。調べてもろうて、もしありやあれです。私も調べてはみます。

**委員（西村慎次郎君）** あいあいバスぐらいなら撮りに行けるんじゃないけど、乗り合いタクシーって非常に運行しようらんと撮れんというか。

**委員（箕戸利昭君）** 一応了解は得て撮らせてもろうとるのはもらっとるんで、運転手さんも写るよ、乗る人も写るよ、できるだけ後ろから、運転手さんは別に構わんかなと思うてあれした。お願いだけはしとく。

**委員（西村慎次郎君）** 探してあれば。

**委員（森本典夫君）** 議会だよりへ出とったんかな、写真が。そこから引っ張ってこれらんかな。

**委員（西村慎次郎君）** ただ、今のホームページに載っとる議会だよりじゃ画素数が低過ぎて、ぼやけてしまうけえ、ネガがあるほうがいい。

**委員（箕戸利昭君）** 探してみます。

**委員（森本典夫君）** それは印刷会社は持っとるんじやの。

**委員（西村慎次郎君）** どういう出し方してるかわからん。

**委員（森本典夫君）** へじゃけ、箕戸さんが探してくれるのが一番ええわ。

委員（簀戸利昭君） 残っとればえんじゃけど。

委員（西村慎次郎君） どこへ入れる。4つ。どこか省く。

委員（簀戸利昭君） 真ん中へ入れりゃええ。丸にして。

委員（藤原清和君） 今、議長、各ページごとに言ようちゃったけど、3ページなんかの写真も見たら1ページと表紙と違うでしょう、写真が。そういうなところ、ちっと空白やこおあるんじゃから、増やしていきゃよろしいが、写真も。3ページの写真と表紙の写真、違おう。

委員（西村慎次郎君） 3ページはこれは形成計画の表紙を。冊子をそのまま。

委員（藤原清和君） 冊子そのまま入れてあるん。このこっちの表紙とは違うわな。これじゃったら井原線が全然載ってねえけど、駅だけ載ってから。

委員（西村慎次郎君） そうです。

委員（森本典夫君） 真ん中へ入れたら写真が小もうなるけん。左の下の大きいバスのところ、上へバスが写つとるから大きいバスのところへもしあれば入れたほうがええな。簀戸さんの写真を。

委員（簀戸利昭君） 残つとることを期待してください。

委員長（三宅文雄君） それでは、一番最初の表紙につきましては、先ほど森本委員が言われましたようにあいあいバスの大きい写真のところ、写真の左下のところへ予約型タクシーの写真を入れてもらうということによろしいでしょうか。

#### 〈異議なし〉

議長（上野安是君） ちょっと内容もあれも細々なるんですけども、まずページの打ち方が今のこれでええんかどうか、ちょっとこれも検討で、目次のところはページなしで初めのところから1をスタートいくんか、その辺も、これでええ言やええし、変えよう言や変えるしということで、これも検討してもらえればということで。

委員（西村慎次郎君） 努力したんですが、余りちょっと本ページはページ数引けたんですけど。

委員（森本典夫君） 一般的にはどがなんかな。目次のところはページ入れないんかな。

委員（西村慎次郎君） 多分入れない。

委員（森本典夫君） 入れないんか。

委員（西村慎次郎君） 線とページは消します。消しますか出しますかという設定ができるんじゃけど、2ページ目ができんかって、載せてしまった。調整します。

委員（森本典夫君） それで、全体の中で何ページ参照とかというのはねんじゃな。ペー

ジ打ちかえたら。

委員（西村慎次郎君） それはなかったです。目次のところのページ数を、これは自動的に変わる。

委員（森本典夫君） それは自動的に変わるんか。なるほど、そういうことがあるんか。

議長（上野安是君） 3ページ、4ページの写真、挿絵というか、その部分に説明が要るかどうか、これも検討してもらって、今のままでええ言やそうじゃし、何かつけたほうがええということになればつけるかなというか、何ちゃらマップとか市民の声を聴く会とは、計画、要るかどうか検討してもらえれば。

委員（森本典夫君） どういうこと言われた。

議長（上野安是君） ここへ、例えばこれが何かわからんときにここへこれの説明というか、それからマップの説明、この写真も上を見りゃ市民の声を聴く会なんかなとも思うけど。

委員（森本典夫君） 場所は言わんでも。

議長（上野安是君） 場所は書かんでも。市民の声を聴く会の様子とか、説明をするか説明しないかという。

委員（森本典夫君） 説明はすべきだと思います。

委員（簀戸利昭君） そりゃ議長が言うてんようにしたら。

#### 〈異議なし〉

委員長（三宅文雄君） それでは、写真にそれぞれ説明をつけていただくということで、副委員長よろしく願いいたします。

委員（森本典夫君） 難しいんかな、これ。

委員（西村慎次郎君） いえいえ、つけるのはいいけど、何をつける。文言がね。

委員（森本典夫君） 文言はそのあれは……。

委員（西村慎次郎君） 形成計画表紙とか。井原市公共交通マップもこれはもう重複になりますけど、あとは市民の声を聴く会での様子。

委員長（三宅文雄君） ほんならちょっと副委員長お願いします。ちょっと言ってください。

委員（西村慎次郎君） じゃあ、（1）の形成計画の表紙なんで、井原市地域公共交通網形成計画の表紙のタイトルを下側につけるということで。下の井原市公共交通マップはもうそのとおり井原市公共交通マップとつけさせていただいて、右側のページの市民の声を聴く会については市民の声を聴く会……。

委員（森本典夫君） 第6回市民の声を聴く会会場というてしときゃあええ。

委員（西村慎次郎君） 会場。

委員（森本典夫君） それでええ。

議長（上野安是君） 3ページで最初の平成28年3月の井原市地域公共交通網の形成計画の後には括弧で資料1と書いていて、ほかのやつが全部頭で資料2、別紙1、2ということで、どっちかへ統一ということで、ただ別紙何とかでぼん見れりゃすぐ別紙が見れるからそれがええかなとも思うていくんじゃけど、通常書き方は後ろへ括弧で入れるんか、ちょっとその辺もどっちかへ統一が要るのかなとちょっと思うてみたん。どうかな。気になる言やなる、ならん言やならんというところなので、どうがええか、まあみたいのところですね。

ただ後ろへ今のこの別紙1とか下のその同じページの、3ページの下の方の別紙1とかというたらすぐ別紙1が広げていって見れるというのは見やすいというか、検索しやすい言やしやすいような感覚があって、どうなんかなと思うて悩んだので、ちょっと意見としては言いますが、どちらでもいいというかどっちかへ統一するか、今のままでいくかということ。統一するとすればどっちへ統一するかという。

それと、ついでに今基本方針の①、②、③となってるんですけど、ここが例えば基本方針の1、2、3に変えられるか、①、②、③じゃのうて。要は資料は①、②、③、別紙も①、②、③じゃけ、基本方針の丸はつけんほうがええんかなという、見方、見せ方として。①、②じゃのうてという。次の5ページ、6ページの方の丸がついとるのを①、②がついとるの、これはこれで表の中というか、ということなんで、これはこのままでええかなと思うてみて、じゃからもととの計画がそういうふうな書き方でしてあったらそうなんかなと思うてみたりするんじゃけど、ちょっと。

委員（西村慎次郎君） 基本方針①、②、③は基本方針1、2、3、に変えておきましょう。

委員（森本典夫君） ①は1、②は2。その資料とかそれから別紙とかというのはやっぱりかぎ括弧閉ずの次じゃろうな。後ろに括弧つけてのほうがいいんじゃないかなと思う、僕は。

議長（上野安是君） そうなっていることが多い言や多い。

委員（森本典夫君） 僕は、へじゃけ、そこは全部それで統一すると。別紙が先に来るんでなくて、資料が先に来るんじゃなくて、その文言が先に来て、括弧閉じて別紙等とか資料1とかというふうにしたほうがいいんかなというふうに僕は思います。

委員（西村慎次郎君） そのとおりで、統一はしたほうがいいと思いますので、かぎ括弧の後ろへ括弧つきで丸括弧で資料1とか別紙1とかという形でしてはと思います。

**議長（上野安是君）** 5ページの表の2のあいあいバスの③で、美星地区はスクールバス委託金に含んであるのは間違いないんですけど、ここの委託金の金額というのは情報としてはどうかなというか。どうせなら委託金何ぼというて書くんがええんか、書けるんなら書くんがええんか、不必要な情報なんかという、それも。何となく①、②も金額入っていてスクールバス委託金に含むけえええわみたいな、ぼんとしてしもうとるけえ、委託金はちなみに括弧して参考として委託金は何ぼですみたいな格好の表示ができるんならしたほうがええんかなというのはちょっと提案です。皆さんの意見聞いてみて。

**委員（森本典夫君）** 1と2はあいあいバスに関してのことなんで、③はそれも含めてスクールバスということになるんで、1、2とはちょっと性格的に違うんで、このままのほうがいいんじゃないかなというふうに僕は思います。

**委員（藤原浩司君）** 同じです。

〈なし〉

**委員長（三宅文雄君）** それでは、現状のままでいいということで進めていきたいというふうに思います。

**議長（上野安是君）** 最後。7ページの課題解決の方向性で整理したということで、（3）の表現の仕方というか、4行目からそこで何とかかんとかで提案します、アンケートの内容としては何々提案します、最後に何々何々、また何々提案しますというて、何かこの表現の仕方がさらっと流せればこのまま頭に入ってくるんじゃないけど、最初にアンケートをすることを提案しますと言うとって、例えばアンケートの内容はこうなんですよという言い方がいいのか、今みたいに提案します、提案します、提案しますで（1）も来ている、（2）も来ているんですけど、ちょっと提案します、提案します、提案しますといっても3つ提案するんじやのうて、結果的にはアンケートすることを提案するんじやけ、ちょっと表現が何か、ええ日本語というか、まとめられるのかまとめるのが難しいんか、ちょっとということなんです。こうしたほうがええという意見はちょっと持ててはいないんですけど、です。

**委員（藤原浩司君）** 議長の言うてんとおりだと思っんです。ここで要は提案する、提案するが続くんじゃなくして、一つ一つの課題を点なら点で区切って、最終的に利用者の登録される方を対象として提案をしますということか、もう最終的には提案します、一個だけにまとめたほうがいいのかなというふうに思います。

**委員（森本典夫君）** 提案しますが今言われてみればずっと重なってくるんで、今考えたことですが、市民アンケートを実施することで次の2件を提案しますとして、1なら1でアンケート、それから2はその次の提案しますを2にしていったら、その提案しますは削除で

きるんじゃないかなというふうに思うんで、市民アンケートを実施することで次の2件を提案しますというふうにして、1、2にして提案しますをそれぞれ削除するというふうにしたらまとまるんじゃないかなというふうに思います、僕は。

**委員（西村慎次郎君）** 私も提案しますがしつこいなというのは気にはなっていたので、ご意見いただいてありがたいんですが。

ちょっと例文言います。そこで市民ニーズを把握するため次の要領で市民アンケートを実施することを提案しますというくくりにして、アンケート内容はちょっと、さっき森本委員が言われた1、アンケート内容、こういう内容で、2、アンケート対象者としてこういう人ということでもとめさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

**委員（簀戸利昭君）** それでいいんじゃないでしょうか。

### 〈異議なし〉

**委員（森本典夫君）** 先ほどちょっと言いました6ページの5の井原市民にはないのないうをどういうふうな表現にしたらええかというのが決まっていないうと思うんで、ないでいいならいいし、それはちょっと表現変えようかということになりやうどういう表現するかというのを協議したらどうかと思います。

**議長（上野安是君）** 表現を変えたほうがいいと思います。

**委員（西村慎次郎君）** 例えば井原市民には定着してないとか。薄いもある。森本委員も薄いとか言われて。

**委員（森本典夫君）** 僕は弱いです。僕は弱いがあええかな。やんわりじゃなう思うて。ないというふうにはならんんじゃないかと。ほかに何か。

**議長（上野安是君）** 井原市は文化が弱いんじゃないくて。文化を入れるけえそうなるんか。

**委員（森本典夫君）** 乗り継ぎをするという。文化にするかどうか。

**委員（簀戸利昭君）** 私は意識にするのが、意識が薄いか弱いか。希薄。

**委員（森本典夫君）** 文化が出たから井原市民が出たんじゃろうけん、意識が弱いがあええな。

**委員（簀戸利昭君）** 文化言や文化なんじゃろうけど。

**委員（森本典夫君）** 乗り継ぐという意識が弱い。文化が井原市民にはというのを削除して。

**委員長（三宅文雄君）** それではまとめます。

公共交通を乗り継ぐという意識が井原市民には薄いという表現でいいですか。



委員（森本典夫君） 僕は井原市民を入れんでもええと思う。入れずに。意識が…。

委員（簀戸利昭君） 薄いでえんじゃねん。

委員（森本典夫君） 薄いか弱いか。

委員（簀戸利昭君） 井原市民を強調せんでもええような。

委員長（三宅文雄君） それでは、公共交通を乗り継ぐという意識が薄いということで、この項を訂正したいと思います。

委員（簀戸利昭君） ここはもう変えたんですか。7ページの第1項の最後の1項というか、「1」の最後のくだり3行、これも提案するがあるので、2カ所ほどあるので、総社方面、福山方面、笠岡方面については朝、昼、夕の1便ずつ乗り継ぎを考慮されたダイヤにすることと、また井原、芳井、美星方面については井原駅を經由していただけるような路線にさせていただくことを提案します、提案がここも2つあったので、そのように書いたらいかがですか。

委員（西村慎次郎君） 簀戸委員言われた、ことの最初の提案しますを取って、ことで点でもう一文にしちゃうということですか。

委員（簀戸利昭君） ことと、またというしてもえんかなという。ちょっとやわらこうなるけど。さっき森本委員が言われたように、①、②の提案しますというような形でもええし、そりゃええほうで構いませんが。乗り継ぎが考慮されたという、乗り継ぎを考慮されたダイヤにすること、またとするか、そこに等をもう一個入れるかどうか、そこらも含めて検討していただければ。

委員（森本典夫君） その点では考慮されたダイヤにすること、それから、を提案しますを削除して、それからまたというふうにしたらどうでしょうか。こと。でを提案しますと削除。また、で最終的に提案します。

委員（西村慎次郎君） ことの後は点で。

議長（上野安是君） 点でいかんと丸でしてしもうたら。

委員（西村慎次郎君） 点にして両方のことを提案しますということでもいいかな。

委員（森本典夫君） 点にすれば、次の提案しますまでつながるわけか。

委員（西村慎次郎君） もう一個、ついでに終わらせて。

最後の1行で、今度井原、芳井、美星方面については井原駅を經由した路線にさせていただくことをということで、いただけるような、いただくことをいう。經由した路線図にさせていただくことを。

委員（森本典夫君） せじゃなしにしたなんじゃな。していただけるようなを削除じゃな。

委員長（三宅文雄君） それでは、先ほど指摘がありました3条について復習したいと思います。

います。

総社方面、福山方面、笠岡方面については、朝、昼、夕の1便ずつで乗り継ぎを考慮された……。

委員（藤原清和君） 乗り継ぎがじゃ。をじゃのうてがじゃ。

委員長（三宅文雄君） がでよろしいですか。

委員（森本典夫君） そこはもう何も言わなんだがな。

委員長（三宅文雄君） ほんなら、乗り継ぎが考慮されたダイヤにすること、そしてまた芳井、美星方面については井原駅を経由した路線図にさせていただくことを提案しますと。

議長（上野安是君） 後ろの今の前のほうはダイヤにすることで、後ろのほうは路線図にさせていただくことみたいな、何かことになつとんで、路線図にすることを、されることを、することを。させていただくことじゃバランスが悪いと思います。

委員（森本典夫君） じゃけん、最後の行は路線図にすることを提案しますじゃろうな。

委員（西村慎次郎君） もう一個。総社方面、福山方面、笠岡方面って、総社、福山、笠岡方面で言ってもいいんですか。

委員（森本典夫君） そうだそうだ。

委員（西村慎次郎君） 総社・福山・笠岡、方面がいっぱい出てくるけえ、上の例えげのところの文章の方面を1つにしちゃっていいですか。

議長（上野安是君） わかると思う。

委員（森本典夫君） また、芳井、美星は方面、方面がねえわな。

委員長（三宅文雄君） 再度、副委員長もう一回。最終確認をお願いいたします。

委員（西村慎次郎君） 3行。

総社・福山・笠岡方面については、朝、昼、夕の1便ずつで乗り継ぎが考慮されたダイヤにすること、また芳井・美星方面については井原駅を経由した路線図にすることを提案します。

#### 〈異議なし〉

委員（森本典夫君） それで、今、副委員長が言われたように（1）の6行目の例えば別紙7、これは後ろへ来るんでしょうが、その次の乗り継ぎ及び総社方面、福山方面、笠岡方面も方面を取ってしまうということでええんですか。下と同じような感じで。

これで全般的にいいのができました。ということです。

議会事務局次長（岡田光雄君） 一番最初の6ページの一番上、②の2の①の運行実績が少ない地域についての後ろが。

委員（森本典夫君） 最終的に確認してねんかな。下2行は削るんじゃない、ついて、その次の文言じゃな。

委員（西村慎次郎君） 運行実績が少ない地域については時間帯、行き先等が悪いのではないかという課題…。

委員（森本典夫君） そういう声があります。

委員（西村慎次郎君） という声があるでいきましようか。そういう…。

委員（簀戸利昭君） しつこいようですが、7ページの最後の真ん中の（1）の最後のくだりはどうなったんですか。もう一回。何かちょっと違和感があったけえ。

委員（西村慎次郎君） 総社・福山・笠岡方面については朝、昼、夕の1便ずつで乗り継ぎが考慮されたダイヤにすること、また芳井・美星方面については井原駅を経由した路線図にすることを提案します。

委員（簀戸利昭君） 何かそこに改善提案という形にしたほうがええんかなという、することをせえというよりも改善提案というような格好にしたらどうでしょうか。何かちょっとひっかかるんじゃないけど、提案します。

委員（森本典夫君） もう提案は改善じゃけ、わざわざ改善を入れんでも。と思いますよ。

委員（簀戸利昭君） 納得しました。

委員（森本典夫君） 大体提案は全部ええほうへの改善じゃから。

〈なし〉

委員長（三宅文雄君） それでは、今後の進め方について皆様方のご意見を伺いたいと思います。

今回で所管事務調査を終了するか、それとも次回に報告書を完成させるという方向で進めるか。

委員（森本典夫君） 今詰めた話ができたんで、あとは委員長、副委員長にお任せして事務局と相談をして、今修正部分を直して完全なものにしていただいて、あともう最終日ぐらいに報告するというでいいんじゃないかと思います。

〈異議なし〉

委員（西村慎次郎君） 確認ですけども、今のご意見いただいた内容は委員長、副委員長で修正して、再度こういう形になりましたというのをメールとかあつこのボックスに入れさ

せていただくか、で確認いただいて。

委員（森本典夫君） メールでのうてもボックスがええ。

委員（西村慎次郎君） それで議会の開会日に総務文教委員会が少し開かれるんで、もし何かあればそこへ言っていたいで、もうそれで完了という流れでよろしいですか。もう一回議題に上げる必要がある、ない。

議会事務局次長（岡田光雄君） 今、皆さんがもうきょうの協議内容大体出そろったんで、それをもう正副委員長で意見していただいたとおりのメール配布させていただくということで、少し、ですからもうきょうをもちまして所管事務調査を終了していただいでいいかなと思います。

きょうでもし終わりということになりますと、最終8ページのところに第2から3行目に6カ月間で7回にわたるというところが、きょうが6回目じゃったんで、6回ということ…。

委員（西村慎次郎君） 5カ月か、10月からしょうる。

議会事務局次長（岡田光雄君） 10月からしょうりますから、5カ月。5カ月間で6回。

委員（森本典夫君） わかりました。

議長（上野安是君） 日付は。報告日。日付なし。

それでも、全然日付がねえと全然わからん。ただあそこで名前書いたかな、委員の名前、全員。どがんしたんかな。何月何日で総務文教委員の連名というか。どんなイメージじゃった。あそこへ日付が入るんじゃったら何日の報告書かわかるけど、日付がねえ報告書なんて聞いたことねえ。

議会事務局次長（岡田光雄君） きょうが最終日なんで、きょうの日付で15で。

委員（西村慎次郎君） 名前は。入れよう。

委員（簀戸利昭君） へえでも、今次長が5カ月間6回言われたん、確認があるんじゃけえきょうで終わりと言いつつも最終の……。

委員（藤原清和君） きょう終わるん。

委員（簀戸利昭君） 終わってしまうん。でも、へえじゃけえ、開会日の日にしたのも含めてもええんじゃねん。

委員（西村慎次郎君） しない。

委員（簀戸利昭君） 最終確認してねえが、まだ。まだ直ってねんじゃけえ。

委員（森本典夫君） それを今こうこうこうしますというてからチェックしたが。言うちやったが。

委員（簀戸利昭君） それで終わりなん。

委員（藤原清和君） これあなたの意見を全部整理してまとめて、全部文章どっか入れますというて。

委員（簀戸利昭君） そこまではわかります。でも、最終確認をしたという形にして、最初るときで終わってもえんじゃねん、間に合うんじゃねん。

委員（藤原清和君） せえじゃったらどうなるん。

委員（簀戸利昭君） 1回ふえるだけじゃけえ。形としたら。

議会事務局次長（岡田光雄君） 一応きょうは皆さんで確認できたので、きょうをもって終了ということになれば、総務文教委員会の委員長から議長宛てに所管事務調査結果がまとまりましたというて報告をいたします、その報告を受けて、その報告書の中に定例会のほうで報告もさせていただきたいので、できれば次回委員会の…。

委員（藤原清和君） 事前の。

委員（簀戸利昭君） 運営委員会。

委員（森本典夫君） ほんなら、ちょっとこりゃそごが出てくる。

副委員長が言われたのは27日に何か意見があったら言うてくださいという。

委員（西村慎次郎君） というやり方をしますかというような確認をしたら、次長からいやきょうで終了にして…。

委員（森本典夫君） 終わりはすんじゃけど、その修正した部分を僕らのレターケースへ入れてくださって、意見ちょっと何かあれば27日に総務文教委員会を開くから必ず所管事務調査のことで開くから、そのときに言うてくださいという話を副委員長されたでしょう。じゃけ、それより前の議会運営委員会にのぞけるとなれば、それまでにはちゃんと修正した分を出して、それで皆さんにオーケーとってというテンポでせんと、ちょっと狂うてくるから、そこを言ようるだけ。じゃけそういうふうで…。

議会事務局次長（岡田光雄君） 森本委員さんのおっしゃるとおり、できましたら今週中に皆もうそこの……。

委員（森本典夫君） そうせにゃあいけなあな。

議会事務局次長（岡田光雄君） 皆さんに委員さんに確認していただいて、もう…。

委員（森本典夫君） 27日にはそういう形で提案すると。

議会事務局次長（岡田光雄君） はい。

委員（森本典夫君） なら、テンポ上げてやってください。

委員長（三宅文雄君） それでは、最終的にまとめます。

〈異議なし〉

委員長（三宅文雄君）　なお、調査結果につきましては、2月定例会において委員長報告することといたしたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（三宅文雄君）　以上で所管事務調査を終わります。

〈その他〉

委員（藤原浩司君）　先般4件ぐらい話を市民の方から聞かさせていただいたことがあるんですが、井笠バスカンパニー、井原バスセンターですけど、建物の中で待合室があるんです。その待合室の全面が南側がガラス張りなんで、すごく太陽光が入って、カーテンも何もないから夏には脱水症状の起きるような方もいたと。窓をあけるんですけど、窓をあけても風が裏にマンションがあるんで通らない。できることならば、今のガラスの半分から上だけでもブラインドというか陰になるものをつくっていただければ適切な温度管理ができるんじゃないかということ、僕もバスセンターで待ち合いで待ったときにそういう話がありました。

ほかにも全部含めた中で4件ぐらいそういう話があって、できれば、冬場でも何かめっちゃくちゃ暑いというようなことを言われました。だから、あと待合室の外にもバスのところにベンチがあるんですけど、そのベンチも数が少ないがゆえに高齢者の方もなかなか乗りにくいんだというような意見もありました。これについて、もし委員会として、そんなに大きなことではないんで、例えば委員会の中でちょっとその報告をさせていただいて、現状をどうなっとるのかなということを確認していただければなというふうに思います。執行部のほうも多分把握されてないと思うんです。どうでしょうか、皆さんにお聞きしたいんですが。

委員（森本典夫君）　大変いい声を聞かれたというふうに思いますので、2月議会でぜひ一般質問で取り上げてください。

委員（藤原浩司君）　一般質問ですか。わかりました。

委員（森本典夫君）　委員会というよりはそれのほうがいいでしょう。と僕は思います。

委員（藤原浩司君）　わかりました。じゃあそうさせていただきます。

そりゃあもうそれでやらさせていただきます。ありがとうございます。

〈なし〉

委員長（三宅文雄君） 閉会に当たり、議長、何かございましたら、お願いいたします。

議長（上野安是君） お疲れさまでした。

委員長（三宅文雄君） それでは、ご苦労さまでございました。

以上で総務文教委員会を閉会いたします。